

**「事業名：地域と若手が共に育つロボット×農業×環境再生 人材共創プログラム」****福島工業高等専門学校 連携市町村：川内村，飯舘村(事業全体)**  
**現地拠点：いわき市平上荒川字長尾30， 相馬郡飯舘村(予定)****事業のポイント**

全体コンセプト：「学びを地域につなぎ、地域から未来を育てる」

- ① 福島高専をハブに、実践的学び（PBL・社会実装）／地域課題解決／多世代交流を同時進行
- ② 2地域連携モデル：川内村（産業・復興の象徴＝かわうちワイナリー）×飯舘村（農業・環境・土）
- ③ 実学重視：高専授業（創作実習等）に組み込み、設計→製作→実装→検証まで実施
- ④ 現場共創：住民・事業者・行政・学生が対話しながら課題発見と解決を循環
- ⑤ 全国高専ネットワーク活用：飯舘村では全国規模で学生参加

**人材育成・定着計画及び目標**

育成する人材像：科学技術＋コミュニケーション力＋合意形成力を備えた復興・地域実装型人材

定着目標：県内産業（農業・ワイン・環境再生分野）への就職・関係人口創出

**2026年度の活動内容****1. 川内村での活動**

- ① ワイナリー鳥獣被害対策：4年生全員が履修する必修科目「創作実習」の課題として設定する。
- ② 小中学生対象出前授業：コミュニティハウスにじいろで定期的に実施
- ③ 地元住民との交流：春と秋の例大祭や収穫祭，自然薯直売会，かわうちワイナリー収穫祭などのイベント運営に学生が協力

**2. 飯舘村での活動**

- ① サイエンス勉強会：農業現場の見学，農業従事者との対話，専門家等による講義，学生の議論と発表を組み合わせた勉強会を実施
- ② 農業の機械化ワークショップ：現場で顕在化している農業課題を，機械・システムの力で解決する手法を学生に考えさせる
- ③ 環境再生事業への協力と住民との交流：長泥地区において実施されている，除去土壌復興再生利用実証事業の現場見学を行う。
- ④ 小中学生対象出前授業：いいたて希望の里学園などで定期的に実施

**取組によって得られる成果**

教育面：実課題に基づくPBLの高度化，高専生の実装力・協働力・社会理解力の向上，小中学生の理科・工学への興味喚起（理系進路選択の裾野拡大）

地域面：川内村：ワイナリー鳥獣被害対策の具体的改善、交流人口の増加

飯舘村：農業機械化・環境再生に向けた課題整理と技術提案

